

- ICTを活用したセンサモニタリングシステム - **ICT漁業**による 地方創生に向けて **意見交換会**

日時 平成28年3月2日(水) 14時30分～17時00分
場所 総務省北海道総合通信局 第1会議室

北海道の主要な産業である水産業の持続的発展のため、ICT利活用による海洋観測データ等の可視化を図り、オープンデータによる地域展開のための標準化やクラウド活用によるICT漁業の高度化に向けた取組を紹介します。

さらに、ICT漁業の北海道内への展開のため、海洋観測データ収集の標準化やデータ活用のためのアプリケーション開発など今後の可能性について意見交換を行います。

第一部 先進事例紹介

1 ICT漁業における地方創生について

説明者： 和田 雅昭 氏

(公立はこだて未来大学 システム情報科学部
情報アーキテクチャ学科 教授)

2 漁場管理のための海洋データ取得と

センサネットワーク技術の活用 (事例紹介)

3 海洋データ利用による漁業支援と水産業の活性化に向けて

(事例紹介)

第二部 意見交換会

ナビゲーター：宮下 和士 氏

(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授)

「ICT漁業による地方創生に向けて」

意見交換会

北海道総合通信局では、北海道の主要産業である農業及び漁業において、ICT分野の研究成果の利活用による効率化を支援しています。

その一環として総務省の「戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)」研究開発課題、「小型漁船群による海洋センシングとユビキタス漁業支援に関する研究開発」を一例として、水産業におけるICT利活用について、道内での展開の可能性を視野に、水産業での実装のためのマネジメントを図り、地方創生の一助となることを目的として、意見交換会を開催します。

○ **日時** 平成28年3月2日(水) 14時30分～17時00分

● **場所** 総務省北海道総合通信局 第1会議室
(札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎12階)

○ **定員** 40名(参加費無料)

● **対象** 情報通信関連企業、水産関連団体、漁業関係者、研究者、一般

○ プログラム

14:00 開場

14:30 開会、主催者代表挨拶

14:35 第一部 先進事例紹介

1 ICT漁業における地方創生について

説明者: 和田 雅昭 氏

(公立はこだて未来大学

システム情報科学部

情報アーキテクチャ学科 教授)

2 漁場管理のための海洋データ取得と

センサネットワーク技術の活用(事例紹介)

(1) 株式会社エコニクス

(2) 株式会社ゼニライトバイ

(3) 公益社団法人北海道栽培漁業振興公社

3 海洋データ利用による漁業支援と水産業の
活性化に向けて(事例紹介)

(1) アンデックス株式会社

(2) 日本事務器株式会社

(3) 株式会社環境シミュレーション研究所

16:00 第二部 意見交換会

ナビゲーター: 宮下 和士 氏

(北海道大学北方生物圏

フィールド科学センター 教授)

17:00 閉会

17:30 情報交換会

● お申込み

参加ご希望の方は、以下の必要事項をご記入の上、**電子メール**、
または、**FAX**にてお申し込みください。

【必要事項】・ 件名「ICT漁業意見交換会 参加希望」

・ 所属団体名、ご氏名、連絡先(電話番号など)

● **お申込先 電子メールアドレス: ict-hjgo@soumu.go.jp**

● **お申込先 FAX番号: 011-709-2482**

○● **平成28年2月25日(木)参加申込締切** ●○

※会場の都合により、1団体2名程度の参加とさせていただきます。

※定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。

※聴講券の発行はいたしませんので、当日直接ご来場願います。

○ **主催** 総務省北海道総合通信局、北海道テレコム懇談会

● **共催** 公立はこだて未来大学マリンIT・ラボ、

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 生物系変動解析分野

○ **お問い合わせ** 総務省 北海道総合通信局 情報通信部 電気通信事業課

担当:越後、山下、高橋 TEL 011-709-2311(内線 4704)